

## 3月31日（日）より運行する「三陸鉄道カラー」車両

### 運行初日のダイヤが決まりました

#### ・車両には「三陸鉄道リアス線開通ヘッドマーク」を掲出

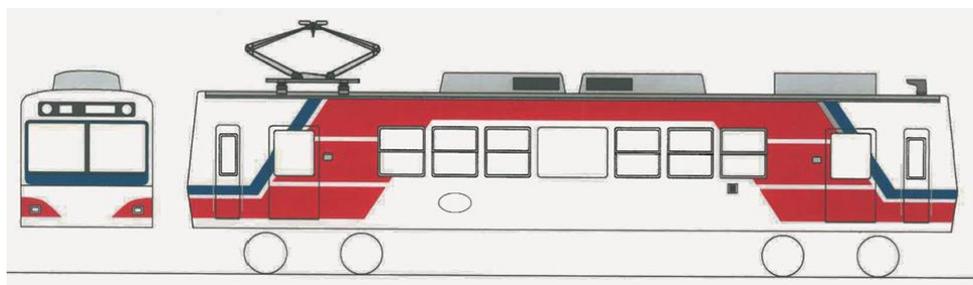
叡山電鉄株式会社（本社：京都市左京区、社長：塩山等）では、すでにお知らせしております通り、2019年3月31日（日）から2020年3月までの期間限定で、三陸鉄道株式会社（本社：岩手県宮古市、社長：中村一郎）のカラーリングを施した車両を運行します。この度、その運行開始初日のダイヤが決まりましたのでお知らせいたします。また、車両の前面には、三陸鉄道で実際に車両へ掲出しているデザインと同じヘッドマークを掲出して運行します。

なお、「三陸鉄道カラー」車両運行に先立ち、運行開始当日の9時40分より約50分間、出町柳駅2番線において車両の展示を行い、自由にご覧いただけます。

※駅構内への入場には、当日に有効な乗車券または入場券が必要です。



「三陸鉄道カラー」に掲出するヘッドマークのイメージ



「三陸鉄道カラー」車両のイメージ



「三陸鉄道カラー」車両 2019年3月31日（日）のダイヤ

・ 出町柳駅発→八瀬比叡山口駅ゆき

10	37
11	22
12	07 52
13	37
14	22
15	07 52
16	37
17	22
18	07 52
19	38
20	23
21	07
22	00 44
23	20
0	00 修学院駅ゆき

・ 八瀬比叡山口駅発→出町柳駅ゆき

10	59
11	44
12	29
13	14 59
14	44
15	29
16	14 59
17	44
18	28
19	12
20	02 42
21	32
22	18
23	01 39
0	

※翌日以降のダイヤは確定しておりません。日によって異なるダイヤで運行します。

※車両点検やその他の理由により運休や運行時刻を変更することがありますのであらかじめご了承ください。

以上

(参考)

「三陸鉄道株式会社」について

三陸鉄道は、日本初の第三セクター（公企業と私企業が共同で出資した企業）の鉄道で、岩手県のリアス線（久慈駅～盛駅間、163km）を運行しています。

2019年3月23日（土）、これまでの北リアス線（久慈駅～宮古駅間、71.0km）、南リアス線（釜石駅～盛駅間、36.6km）に加え、旧JR山田線の宮古駅～釜石駅間が三陸鉄道に移管され、「三陸鉄道リアス線」として運行が一体となりました。総営業距離の163kmは、第三セクター鉄道としては日本一の営業距離です。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、運行できない区間が多数発生するなど甚大な被害を受けましたが、2014年4月6日に北リアス線、南リアス線の全線で運行を再開しました。



### 「三陸鉄道カラー」車両運行について

三陸鉄道と当社は、2009年の「第5回えいでんまつり」で全国の鉄道をPRするコーナー「広がれ！鉄道ネットワーク」にご協力いただいた縁から交流が始まり、2013年より開催しているイベント「悠久の風～南部風鈴によせて～」におけるフォトコンテストなどを通じて連携を深めてまいりました。また、今年の台風21号で当社が被害を受けた際には、三陸鉄道から社長が激励にお越しくさるなど、温かいエールを頂戴しております。

今回の「三陸鉄道カラー」車両運行は、昨年いただいたエールへのお礼の意味と、三陸鉄道が震災の被害を乗り越え、新たな路線として出発するにあたり、少しでもお役に立てばという思いを込めて企画したものです。

